

山形県立農林大学校

東北農政局長賞

代表者名：校長 今田 邦信

所在地：山形県新庄市

認証：ASIAGAP

米(粳・玄米)：平成29年

西洋なし：平成31年

面積：2.5ha

構成員：17名

栽培品目：水稲、
西洋なし

取組の紹介

【生産工程管理の改善の取組】

- 1年次に「GAPの知識取得」(座学)を学習し、2年次には専攻実習において具体的に「GAPを用いた管理」に取り組んでいる。
- 食品安全対策として、衛生管理に力を入れており、手洗い場や各農場のトイレに「正しい手洗いの手順」を掲示することで、職員・生徒間で意識統一を図っている。
- 使用後の農機具の洗浄や整理・整頓など、基本的なことを確実に行う習慣を身につけている。

【人材育成活動】

- 「高大連携協定」を締結している県内の農業系高校6校のGAPに関する視察の受け入れや出前講座を行っている。今後は、この6高校と連携して、農業系高校におけるGAPの取組と認証取得をより一層推進するために「GAPシンポジウム(仮)」を開催予定。

【地域の内外への波及効果】

- 学生だけでなく、新規就農者等を対象としたGAPに関するカリキュラムを拡充するなど、多くの生産者がGAPの知識を習得する機会を創出している。
- 2020東京オリンピック・パラリンピックへの食材提供団体としてエントリーするとともに、飲食事業者や行政と連携して「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」にも応募している。



衛生管理徹底のための掲示



草刈機の整理・整頓



ASIAGAP維持審査の様子



地元消費者とのふれあいを目的とした直売所「農大市場」(年5回開催)